

* おすすめの1冊



「新・片づけ術 断捨離 一片づけて人生が変わる」

やました ひでこ マガジンハウス 2009年12月発売

発売まで「断捨離」という言葉が知られていなかったのに、今では誰もが「断捨離」の意味が分かるきっかけとなった1冊。新しい環境に慣れず悩んでいた私に、妹が「これを読むと考え方が変わるかも」と貸してくれました。いま読み返しても新鮮です。モノに対する考え方が変われば、人間関係も変わるんですね。本校図書館にあるので、興味のある人は一度開いてみてください。

図書担当 尾住

《三木東図書館 活用術!》

① 集中して勉強したい!

家へ帰ると、勉強せずに寝てしまう、そんなあなた。静かな図書館で勉強してみませんか。第2の勉強部屋としてご利用ください。

② ほっとする時間を過ごしたい!

図書館には色々なジャンルの本があります。もしかしたら、読みやすい一冊に出会えるかもしれません。

絵本もあります。幼い頃に読んだ、懐かしい絵本を開いて心安らぐ時間を過ごすのもいいですね。

③ 本をリクエストできる!

図書館に入れてほしい本は、リクエスト用紙でいつでも申し込むことができます。申し込んだ本は、貸出可能になったら、連絡をしますので、最初に借りることができます!



【写真①図書オリエンテーション・ソファでくつろいでいる様子です】

図書館の利用について

■開館日時

平日：12時40分～13時15分（昼休み）

15時40分～16時50分（放課後）

※休館日 水曜日

■貸出について

期間：2週間まで

冊数：4冊まで

長期休業中は

・貸し出し期間

・貸し出し冊数

の変更があります

図書日より

「Library」で

お知らせします

課題研究専用コーナー

39回生から、今春卒業生した46回生（赤色）までの過去8年分の課題研究論文集のファイルがあります。

卒業生の努力の結晶です。課題研究の参考にしてください。

何を書こうか迷っている人は、研究テーマ設定の参考にもなります。

貸出しはできませんが、図書館へ来て読んでください。

図書館には、課題研究に役立つ本のコーナーもあります。ぜひ利用してください！



皆さん、こんにちは。図書担当の尾住（おすみ）です。

1年次の皆さん、ご入学おめでとうございます。

2、3年次の皆さん、進級おめでとうございます。

三木東高校の図書館で皆さんと会えることになり、心からうれしく思っています。「素敵な図書館だな」と思うところが本校の図書館にはたくさんあります。検索してすぐに目当ての本が見つかる整った図書館内。座り心地の良いソファ、皆さんの教室で皆さんが授業を受けている様子が見えたり声が聞こえたりする立地。特に、木箱の返却ボックスに、貴重品ロッカーのある図書館。県立高校の図書館でこの2つがそろっている図書館は珍しいと思います。この「Library」を通じて本校図書館の魅力を発信していきたいと思っています。一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

【写真②図書オリエンテーションで先輩たちの論文を開いてみました】

★学校ホームページのメニューにあります「図書館」からカラーで見ることができます。「お知らせ」からも見ることができます。ぜひご覧ください。



【裏面もぜひご覧ください】

*図書オリエンテーションをしました

4月13日(火)新入生190名全員が、クラスごとに図書館へ来館しました。本校図書館を活用して充実した3年間を過ごしてください。図書オリエンテーションの様子です。【写真①~⑤】



【写真③】

手指の消毒をしてから入館しました。



【写真④】

はじめに利用方法を聞きました。



【写真⑤】

説明後、自由に館内を歩きました。新聞を読んでいる生徒もいます。

* 第一回図書委員会がありました

4月19日(月)、第1回図書委員会がありました。図書委員長の足立さんより図書委員の役割や図書当番の説明がありました。その後、図書担当の先生方より、お言葉をいただきましたので、紹介させていただきます。

OA 先生(3年)

図書館に本がたくさんあります。一冊でも多く読んでください。

私もこの一年で少しでも読みたいです。

OB 先生(2年)

こうして図書館でたくさんの本に囲まれていると、読んでみたい本があります。図書委員には本を読む文化を広める役割があります。あなた達自身が友人に伝えてくれれば、どんどん広まります。頑張ってください。

OC 先生(1年)

小説・数学の歴史の本は年間約40冊読んでいます。これから週3冊を目指して、理系関係の本を読んでいきたいと思っています。一緒に頑張っていきましょう。

○D 先生（総務部長）

本は、紙でも文字でもなく、その裏には必ず人がいます。本を読むことは、書いた人との出会いでもあります。ぜひ本を手にとり色々な人と出会ってください。

○尾住先生（総務部図書担当）

図書委員になって「どうしよう」と思っている人もいると思います。実際にそのように話す生徒の声を聞きました。大丈夫です。私から声をかけて、少しでも不安な気持ちが減るようと思っています。私自身、1～2分になることもありますが、本を読むことを毎晩続けています。皆さんが1冊でも多く本を手にとってくれることを願っています。

